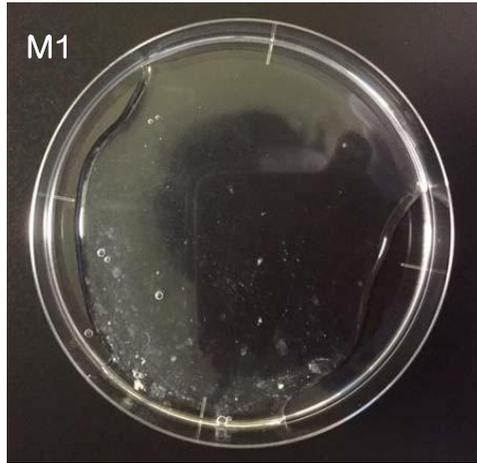


## 検査に適した喀出痰の例

悪い出痰の例

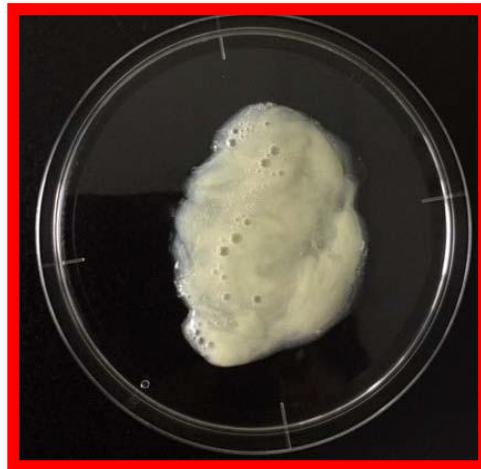
唾液（つば）、完全な粘液性



**M1の喀出痰が提出された場合は、  
細菌検査室では受け取らず採り直しを  
依頼します。(抗酸菌検査は対象外です)**

良い喀出痰の例

膿性部分がある ◇新鮮である ◇うがいなどの後で口の中の雑菌が除かれている  
膿性部分が 1/3 以下  
膿性部分が 2/3 以上



## 検査に適した便の性状

CDトキシン検査では、プリストル便形状スケール5以上を推奨する。

**4以下の場合は、細菌検査室では受け取らず採り直しを依頼します。**

《プリストル便形状スケール》

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兔糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなどぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がぼぐれて、ふにゃふにゃの不定形の 小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便



**正しい結果は、正しい検体採取から！**

令和7年3月 感染制御部